

小池としあき市政レポート

令和3年1月5日発行

小池としあき 〒417-0001 富士市今泉 2305-5
TEL: 52-5453 FAX: 69-1129
ホームページ: <https://www.koike473.com/>
Email: koike473@ab.thn.ne.jp

正々堂々



小池としあきが、11月定例議会で、46回目の一般質問に臨みました！

今回は、70年にわたり富士市の学校給食にパンと米飯を提供してきた主食製造・納入業者が、本年度末で撤退することを表明したことを受け、今後の学校給食のあり方について、市長の考え方を質すとともに提案を行いました。

質問1・・・来年度からの主食をどう確保していくのか？ その見通しはどうか？

① 主食製造業者の撤退が報道されたが、来年度からの主食の納入をどう確保していくのか、またその見通しはどうか？

→(市長)各学校と契約している県学校給食会から、主食の提供については、滞りなくまかなえる見込みと報告を受けている。

② 米飯・パンとも現在の回数、サービス水準が確保されるのか？

→(市長)選定される事業者の供給規模に応じて、各学校の給食献立を調整するなど、県学校給食会と適切に連携していく。

③ 回数やサービス水準の確保等は、本来、契約先の県学校給食会が調整・確保すべきであり、市(教育委員会)としては要求水準に合致しているかどうか、至急現場確認(事業所の実地調査)をすべきだ。教育委員会は、そうした「汗をかく覚悟」があるか？

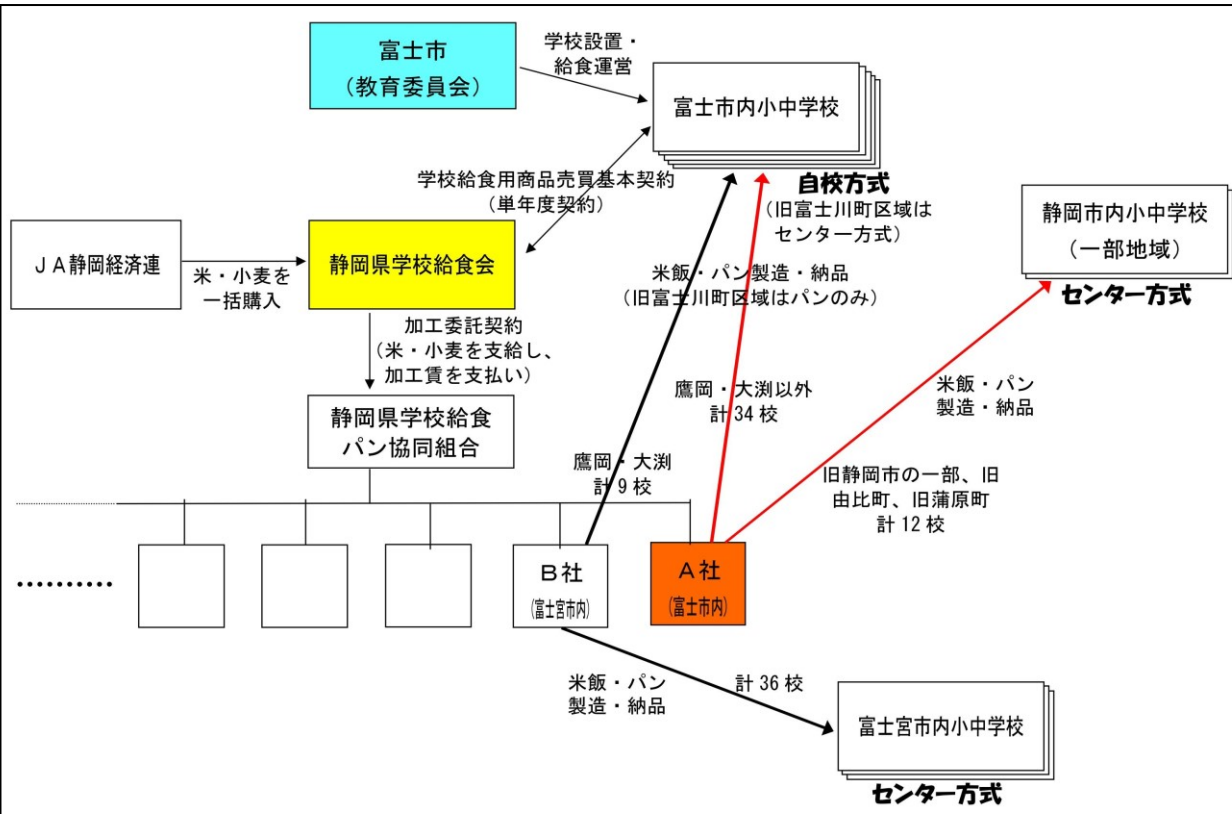
→(市長)「教育委員会自らが汗をかき、確保していく覚悟」である。

■自校方式で、できたてのおかずと、毎日違うパンやご飯が並ぶ富士市の学校給食 (富士市HPより)



質問2・・・県学校給食会を契約先として選定している理由は？ 民間業者と直接契約すべきでは？

■現在の富士市の学校給食における主食の発注・製造・納品に関する関係図



■主食納入業者にとっての「センター方式」と「自校方式」の手間の違い

- 《センター方式》
 - ・ 献立が統一され、それに合わせ米飯・パンの日程とボリューム(量)が事前に決定
- 《自校方式》
 - ・ A社が、3ヶ月前から具体的な調整作業に着手
 - ・ 30校の希望(米飯・パンの希望回数、給食休業日等)に配慮しながら、製造側のキャパシティ、配送ルート・時間も考えて、各学校の米飯・パンの日程を調整していく
 - ・ 30校それぞれの栄養士と少なくともFAXのやり取りを3回、電話でも調整
 - ・ しかし、どちらの方式でも単価(納入業者受取り)は同じ(県内どこでも)

① 県学校給食会を契約先として選定している理由、また契約条件はどうなっているのか？

→(市長)主食が安定して提供できること、安全性の確認ができていて、また年間契約で価格が安定し、一定以上の品質が確保されている等が選定の理由である。

契約条件としては、各学校と、県学校給食会を含む給食納入業者とで売買契約を結んでおり、教育委員会と納入事業者は契約関係にないが、今後、公会計化に伴い、市と各事業者との契約としていく。

② 主食納入業者(今回、A社が撤退表明)は、県学校給食会の下請け的な立場だが、各校で献立が異なり調整に手間がかかる自校方式の富士市の学校への米飯・パンの製造・納品まで、全ての作業をA社が担い、学校給食を支えてきた。本来、そうした調整は教育委員会、もしくは県学校給食会が行うべきだが、A社の働きの上に胡坐(あぐら)をかいてきたと言わざるを得ない。

今後は、調整機能を果たさず、上前を撥ねているだけの県学校給食会に任せるのではなく、教育委員会自らが汗をかいて動きながら、条件を明示した上で米飯・パンを製造する民間業者による入札方式にすべきではないか？

→(市長)今後は公会計化に伴い、主食業者の選定についても、競争原理の視点も踏まえて研究していく。

質問3・今後の学校給食のあり方について、抜本的な検討を早急に開始すべきではないか？

② 今後の学校給食のあり方について、富士市学校給食運営審議会等の場で、抜本的な検討（例えば主食の調達方法・調達先、自校方式にこだわらない親子方式（近隣複数校で1校が自校調理し、それを近隣校に配送）も含めた給食提供等）を早急に開始すべきではないか？

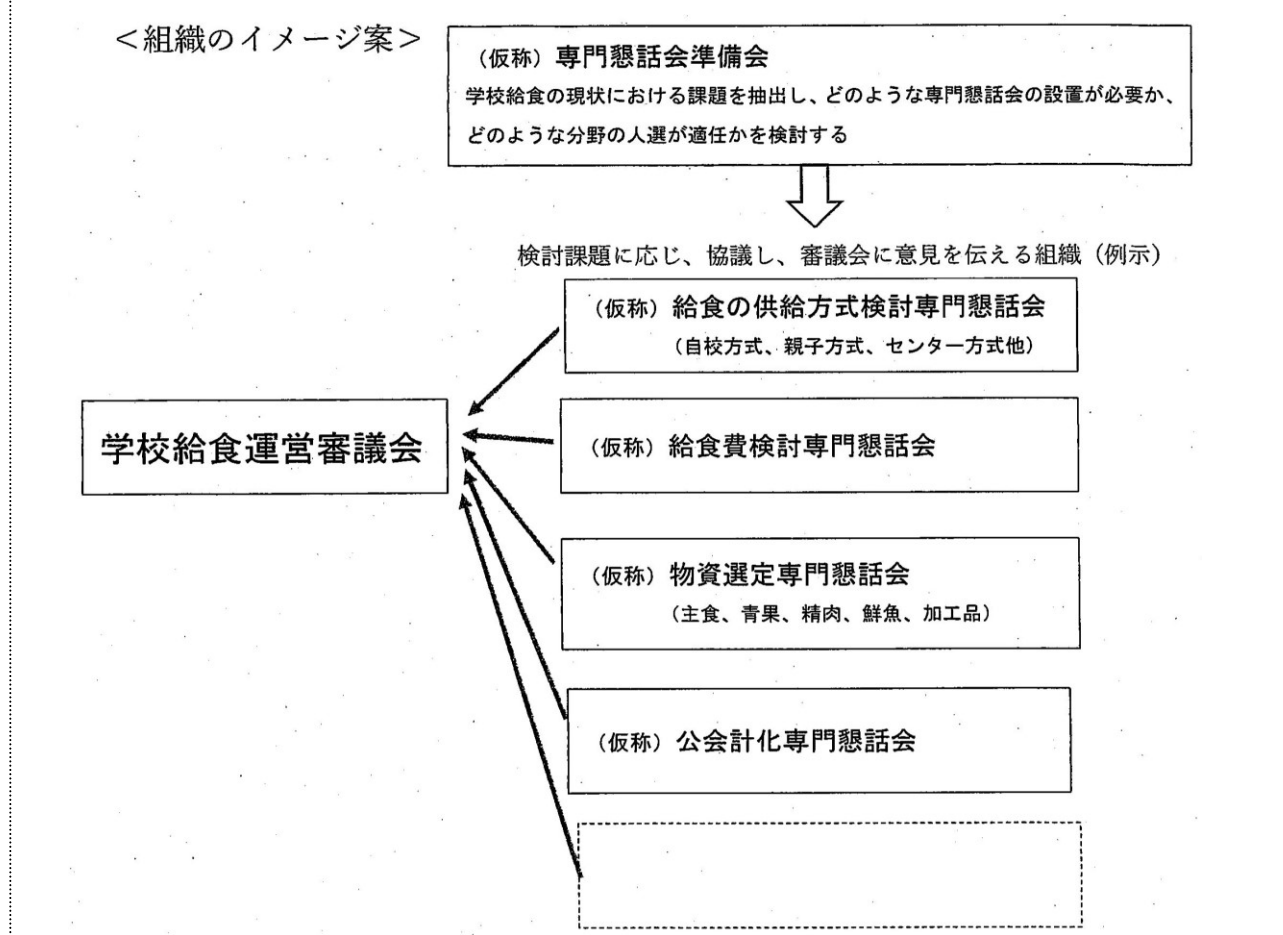
→(市長) 本年7月に、学校給食の運営に関する事項を審議する目的で、公募委員・有識者・保護者代表・学校長代表で構成する学校給食運営審議会を設置した。今後、当審議会において学校給食のあり方について検討を進めていく。

① 審議会の下部組織として、学校、PTA、主食業者、副食材納入業者、行政の給食に直接関わる専門的なメンバーが、同じ立場で随時、連絡協議する「専門部会」を設置すべきでは？

→(市長) 「専門部会」の設置を前向きに検討していく。

(再要望) この「専門部会」は、新しい事業者が決まったら、すぐにも年度内に準備会を開催し、新年度に備えてほしい。

■12月17日の学校給食運営審議会で提示された「専門懇話会」のイメージ



■審議会での検討状況を伝える静岡新聞の記事(12月18日付)

給食「専門懇話会」設置へ 準備会設立の方針 富士市

富士市教委は17日、事業者撤退の経過や主食の供給事業者の撤退を受けて浮き彫りになった市内の学校給食の課題を専門的な立場で検討する「専門懇話会」(仮称)の設置に向けた準備会を設置する方針を市役所で開かれた市学校給食運営審議会で示した。事務局は、主食供給

事業者撤退の経過や事後対応を示し、米飯の供給が確保できる見通しと、パンは今後選定される事業者の供給規模に応じて、各校で献立の調整が必要となる可能性を示した。

専門懇話会は、供給方式や給食費、物資選定、公会計化などの課題別の組織を複数設置し、携わる全事業者を対象に学校給食への意見を聴く契約説明・意見交換会を初開催する考え

同年2月には給食に携わる全事業者を対象とした「専門懇話会」の準備会を開催し、2021年3月に初会合を予定する。

21年度の学校給食費については据え置き方針が示されたが、主食の構成が決まらない状態で承認すべきか一時議論が紛糾。委員からは事務局の真剣な姿勢が見えないと苦言が示された。給食費は献立確定後に清算すること

10~12月の活動・新型コロナに注意しつつ、しっかり活動しています！



「ブルーキャニオン」さんを見学(10/21)・・・東京オリンピックから五輪種目になるスポーツクライミングのジムです。近い将来、富士山を背景にしたクライミング大会を是非、富士市で！

所属する会派「ふじ 21」で来年度予算要望書を市長に提出(10/27)・・・会派の議員4名で分担し、9分野25項目について要望しました。2月に示される予算案に注目です！



アルティメット 4on4 大会に出場(11/3)・・・通常の7人制より狭いコートで初心者にと最適のことで、選手として出場しましたが、ゲーム開始2分で肉離れ！ 次回は必ずリベンジを！



滝川でヒガンバナの球根の植付け(11/14)・・・市民里親やジャトコの皆さんと11年かけて約1kmの土手にヒガンバナを植付けが完了しました。今後は株分けしながら更に増やしたいです！



文教民生委員会の議会報告会(11/14)・・・市で計画策定中の「市民後見制度」を、どうやって市民の皆さんに知ってもらうか？をテーマに「目からウロコ」の提案を数多くいただきました！



今年最後の田宿川の川そうじ(11/22)・・・この時期は、水温(14~15℃)より気温が低いので、寒さは感じません。私は今回から、脇の下まですっぽり覆うニュー胸長で参加です！



富士市立高校で議会報告会(12/14)・・・「社会福祉センター」の周知・活用に関する高校生ならではの提案が印象的でした。まずは小さくても良いので、お試して実際に取り組んでみよう！

富士市・富士宮市の両議会議員の意見交換会(12/16)・・・新環境クリーンセンターで4つのグループに分かれ意見交換しました。富士地域の今後の発展は両議会の連携が欠かせません！